

# センサーカメラ映像報告(12/11セット→1/8回収)

2022年-西山ネット・イノシシ対策チーム

## 5か所のカメラが捉えた動物一覧

動物種	カメラ設置場所				
	炭東	炭最下部	N東	御陵最下部	鏡西
イノシシ					
シカ	12/25	12/14、24	12/22、1/1	12/14、20、22、30、1/8	
キツネ	12/15			12/15	
ハクビシン	12/20、1/4				
テン	12/21	12/14		12/16	1/4、7
ノウサギ	1/7				
ヤマドリ		12/12			



### 《ハイライト》

- ・イノシシは現れず、足跡、侵入痕跡もない。(最後に現れたのは2か月以上前の10/27)
- ・今回はキツネを初めて自然光下で捉え、また久しぶりにノウサギが写った。
- ・雪中に動物の足跡が多数あった。ただし小動物の判別は難しい。

### イノシシ

イノシシは昨年10/27に炭東のシバグリポイントに現れたのを最後にカメラの前に現れていない。2か月半に渡って姿を現さないため、山頂付近を離れた可能性が高い。現在イノシシは繁殖期だが♀がいなければ♂が現れることもない。当面イノシシチームの巡回を月1回に減らしているが、この状況からは妥当な判断と考えられる。

### その他の動物(シカ、キツネ、ハクビシン、テン、ノウサギ)+ヤマドリ

シカの頻度もやや減っている。相変わらず食べ物がない様子で、ネット内に首を突っ込んでわずかな草を食べる姿が見られる。キツネは今回2回写ったが、御陵下では午前7時過ぎの明るい時刻に通過したため自然光下でカラー動画が初めて撮れた。なお、キツネの雪中足跡は一直線になるので見つけやすく、N、炭、鏡前の道路周辺を歩きまわっていることがわかった。ハクビシン、テンはいつも通りの頻度で現れている。ノウサギは昨年3月末にN東で1回撮影されたのみであったが、今回炭東に現れ、動画でも長い耳が何とか確認できる。また、炭の下部を立派な尾羽を持つヤマドリが通過した。

### 巡回路の安全性強化の必要性について

今回は、深いところで10センチほどの積雪が残っていた。時間の制約もあってネット周辺の巡回は一部にとどめたが、やはり、鏡の谷などではカメラにアプローチするだけでも積雪の急斜面を通行しなければならず、あらためて危険性が高いことがわかった。鏡西ではすでにクレモナロープを50m張っているが、取り急ぎ延長することが望まれる。



Reported by M. Nakagawa on Jan10, 2022